

～ 耕作放棄地を再生してこだわりのそばを生産 ～

群馬県前橋市・渋川市

取組主体:高井眞佐実・株式会社赤城深山ファーム

取組開始時期:平成21年度

解消面積:約8.96ha(平成26年3月末時点)

導入作物:そば

1. 取組のきっかけ・経緯

都内でそば店を経営していた高井眞佐実氏は、「100%の素材」にこだわり、赤城山麓で耕作放棄地の再生による高品質のそばの栽培、加工、販売を開始。

平成25年2月には、経営の体質強化を目的に法人化し、現在は、株式会社赤城深山ファームとして活動している。

2. 取組内容

赤城山麓は、標高200～800mで火山灰土が堆積した水はけのよい土地で、寒暖の差が大きく、夏は冷涼で、霧のまきやすい気候であり、そばの栽培に適した土地である。

しかし、傾斜地のため、荒廃も進んでおり、荒廃農地の再生及び低利用農地の借り受けにより、そばの栽培地を拡大。

当初は、赤城山の西側に位置する渋川市赤城地区において取り組んでいたが、平成25年度から、赤城山の南面に位置する前橋市芳賀地区と富士見地区においても取り組みを始めて、平成25年度末現在、荒廃農地476aを再生し、低利用農地420aを含めて、896aでそばを栽培している。

また、栽培したそばは、平成23年度全国そば優良生産表彰事業において、最高賞である農林水産大臣賞を受賞している。

3. 今後の課題・予定など

高低差を利用し、農繁時期をずらして、作付・出荷ができるように、また、生産コストを抑えるため、既に借り受けた農地に周辺の農地を集積していけるかが課題。

4. 活用した補助事業

事業名	～H25	H26(予定)	備考
耕作放棄地再生利用緊急対策(国)	371a	44a	再生活動
耕作放棄地再生利用総合対策(県・市)	105a		再生活動
6次産業化推進整備事業			そば製粉用機械等導入



再生前



再生後